

エスビー食品の持続可能なバリューチェーン

各事業プロセスにおいて、従業員一人ひとりが自らの役割に責任を持ち、さまざまなステークホルダーの皆さまと連携しながら、エスビー食品グループならではの価値を創り出しています。一連のバリューチェーンにおけるそれぞれのプロセスでは、お客さま視点の研究開発や製品開発、マーケティング活動の強化、生産性向上などに日々取り組んでいます。これらの活動を通じて、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれる企業を目指していきます。



商品企画・研究開発

お客さまに心から満足していただける製品を作るため、お客さま視点で考え、また、さまざまな視点でリスク分析を行うことにより、安全・安心で価値のある製品の研究開発を行っています。

【強み・特徴】

- ・お客さま視点に立った製品づくり
- ・製品開発業務における環境への配慮
- ・外部機関との連携
- ・多様なニーズに対応した製品の開発

【認識課題・社会からの要請】

- ・社会環境の変化に対応した製品や新たな価値のある製品の提供
- ・環境負荷の低減(包装資材使用量の削減)

【エスビー食品の取組み】

食シーンや世帯構造の変化に対応した製品開発

溶けやすく時短調理が可能な「パウダールウ」、使い切りサイズでいつでも豊かな香りが楽しめる「カレー粉スティック」や「スティックスパイス」、手軽に本格的な味を楽しめる「シーズニング」などは、いずれも少人数前調理が可能な製品です。食シーンが多様化するなかで、お客さまのさまざまなライフスタイルに合わせた幅広い製品開発に取り組んでいます。



食物アレルギーに配慮した製品開発

家庭用「カレーの王子さまシリーズ」や、学校給食向け業務用「アレルギーフリーシリーズ」など、食物アレルギー対応品13品を販売しています。それらの製品は、対象となるアレルギーについて、原材料調達から製造工程、生産後の検証まで徹底した管理を行っています。家庭や学校でみんなでおいしくカレーやシチューを食べていただけるよう、常に味わいや品質の向上に努めています。



原材料調達

安全・安心で高品質の原材料を安定的に調達するため、原材料調達の段階から産地の自然環境や社会に配慮した責任ある取組みを行っています。

【強み・特徴】

- ・「サステナビリティ調達基本方針」の制定・推進
- ・安全・安心への取組み
- ・安定調達への取組み
- ・「持続可能な調達に関するコミットメント」の制定・推進

【認識課題・社会からの要請】

- ・安全・安心な原材料の調達
- ・持続可能な資源の利用
- ・生物多様性への配慮

【エスビー食品の取組み】

「サステナビリティ調達基本方針」に基づく、持続可能な香辛料調達(◎関連ページ:P33-34)

主要香辛料*について、2030年を目標として安全・人権・環境・コンプライアンスに配慮した持続可能な調達を目指します。目標達成に向けた調査・分析・改善活動の3つのステップを設定し、現在はサプライヤーへの調査活動を実施しています。これまでに、サステナビリティ調達基本方針の5項目に基づいたアンケート調査を実施しました。2023年度は積極的に香辛料の産地へ赴き、サプライヤーへの詳細なヒアリングを行いました。

*主要香辛料: こしょう・唐辛子・マスタード・パセリ・ローレル・オレガノ・わさび・ターメリック・コリアンダー・クミン



生産管理

独自の品質保証システムを運用することで、品質を最優先とした安全な製品づくりを行っています。

【強み・特徴】

- ・品質保証システムの運用
- ・スマートファクトリー化のためのIoT導入
- ・生産履歴に関する情報管理

【認識課題・社会からの要請】

- ・安全・安心な製品の製造
- ・製品の安定供給
- ・食品廃棄物の削減

【エスビー食品の取組み】

「品質保証協議会」の実施

品質保証協議会は、本社品質保証部門と各工場の品質管理担当者が一堂に会する形で定期的に開催しています。お客さまからのご指摘内容や各工場での安全・安心に関する取組みの紹介などの情報を共有し、さまざまな課題に対して意見交換を行っています。この協議会を通じて、安全・安心な製品づくりをさらに深化させています。品質保証協議会の実施は、第3次中期経営計画の非財務目標としても掲げています。





物流

工場からお客さまのもとへ製品を安全にお届けするため、物流の効率化や環境負荷の低減に取り組んでいます。

【強み・特徴】

- ・安全・安心を運ぶ「物流」
- ・物流における環境負荷低減に向けた取り組み

【エスビー食品の取組み】

物流体制の向上

エスビー食品は現在約3,000品目の幅広い製品ラインアップを展開しています。物流事業者との定期会議を開催し、課題の共有と改善のための意見交換を実施し、日々品質の向上に努めています。また、輸送の車格を大型化し1回あたりの積載量を増やすとともに、お取引先さまのご協力を得て発注ロット単位を見直すなど、輸配送の効率化にも取り組んでいます。

【認識課題・社会からの要請】

- ・環境負荷の低減 (CO₂排出量の削減、3Rの推進、水使用量の削減、モーダルシフト)
- ・物流2024年問題への対応
- ・品質の高い物流サービス



販売

世界中の小売店、外食店、加工メーカーなどの幅広いお取引先さまに対して当社製品の魅力をお伝えすることで、世界中におけるエスビー食品のファン拡大を目指しています。

【強み・特徴】

- ・スパイスやハーブ、カレーなど自社ブランドから海外ブランド品まで、多様なニーズに対応した幅広い製品ラインアップ
- ・国内外における企画提案型の営業活動
- ・フレッシュハーブ営業における全国の契約産地との協力体制
- ・各国の法規制に適合した輸出専用製品のラインアップ

【エスビー食品の取組み】

持続的成長を支える企画提案型営業

当社は、常にお客さまの視点に立った企画提案型の営業活動を推進し、お取引先さまとともに持続的な成長を目指しています。企業理念「食卓に、自然とあわせを。」の実現に向けて、さまざまなお客さまのニーズに対応した3,000種類を超える製品ラインアップにより、トレンドや市場動向を踏まえた提案を行っています。この提案力は、当社の強みの一つです。

【認識課題・社会からの要請】

- ・多様なニーズに対応した製品の販売
- ・海外への日本食普及への貢献



製品の魅力をお伝えする工夫

お客さまに食の楽しさや大切さを伝えることは、事業の継続や成長において重要な取り組みです。たとえば、各国の料理や副菜が手軽に作れるシーズニング製品は、毎日の献立に悩むお客さまにメニュー選びの楽しさを提供します。そのような製品の魅力をお伝えるために、小売店の店頭では、シーズニングを陳列することに特化した当社独自のミールソリューション什器などを設置して、お客さまが製品を手に取りやすい工夫をしています。細かな提案により、お客さまに信頼される企業を目指しています。



コミュニケーション

お客様相談センターやウェブサイトを通じ、より多くのお客さまの声を製品やサービスに活かせるように努めています。

【強み・特徴】

- ・お客さまと当社をつなぐお客様相談センターの設置
- ・お客さまの声を製品に反映する取組み
- ・国内外でのウェブサイトやSNSの運用

【エスビー食品の取組み】

情報管理システムの活用

当社では、お客さまからの問い合わせや意見を一元管理するための情報管理システムである、「Compass System (コンパスシステム)」を導入しています。このシステムは、お客さまの声を迅速かつ正確に関連部門に伝え、製品改良やサービス向上に役立てることを目的としています。「コンパスシステム」という名前は、お客さまの声を当社の進むべき方向を示すコンパスとして活用し、お客さま満足度の高い製品づくりに活かすという想いが込められています。

コーポレートサイトでの情報発信

当社のコーポレートサイトは、企業理念やビジョン、製品情報、IR情報、コーポレート・ガバナンスなど、多岐にわたる情報を提供する重要な役割を担っています。7,000を超えるレシピや、適塩・食物アレルギー対応への取組みを発信することで、社会から必要とされる企業を目指しています。

エスビー食品 コーポレートサイト
<https://www.sbfoods.co.jp/>

【認識課題・社会からの要請】

- ・製品に関する情報の提供
- ・社会課題への取組み (支援活動、地域社会との取組み、食に関する課題への取組み)

「Compass System」活用の流れ

